

基本政策 1

生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり



- 自然災害への対策はもちろん、いざという時に助け合える「顔の見える関係」づくりをサポートします。
- 超高齢社会でも、生き生きと安心して暮らし続けられるしくみをつくります。

いとしきゼミ(1年生)



ゼミの取り組み

環境、景観、健康の3つの“K”をキーワードに活動しています。具体的には「タバコから川崎市を守ろう」をテーマに、喫煙所事業を展開する企業とコラボして、タバコのポイ捨てを楽しく減らすための施策を計画中です。

私たちが注目した政策はこれ!

政策 1-2 安全に暮らせるまちをつくる

防犯意識やマナーの向上などを図ることで、交通事故や地域における犯罪を未然に防止し、市民や地域で活動する団体、警察などとの連携により安心して暮らせるまちづくりを目指します。

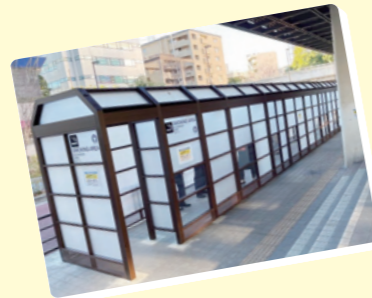
超高齢社会を見据え、高齢者、障害者を含め誰もが安全、快適に暮らすことのできるユニバーサルデザインに配慮しながら、身近な生活環境の整備を進めます。



Q. 喫煙者と非喫煙者が共存していくためにはどうすべき?

A. 互いに尊重できる生活環境を作る!

たばこを吸う人も吸わない人も互いに尊重し合いながら生活できる環境を作ることが大切です。市では、指定喫煙場所(13カ所)を設置するほか、市内全域で路上喫煙をしないよう求めるとともに、主要駅周辺などを「路上喫煙防止重点区域」として指定し喫煙を禁止しています。また、令和7年7月からは、公園内は原則、禁煙となります。



Q. 路上喫煙防止対策の実際の効果や、今後改善したい事は?

A. これまで以上に啓発活動を実施!

市内の主要駅周辺で毎月実施している路上喫煙防止キャンペーンや、「路上喫煙防止重点区域」を中心とした路上喫煙防止指導員による巡回活動により、路上での喫煙者率(路上喫煙通行量調査)は減少しています。今後もより一層の広報・啓発活動や、巡回活動が必要と考えています。詳細は市HPで。



市HP



高校生からのギモンに答える形で紹介!!

最幸のまち かわさき

川崎市総合計画

私たちのまちのさまざまな所で、市の取り組みが行われています。

市がどのようなまちを目指しているのか、

そのために各取り組みをどのように進めていくのかは、「総合計画」に基づいています。

市立川崎高等学校では、

5つのゼミグループが総合計画について探究活動を行っています。

今回は、生徒たちが注目した政策について疑問に答える形で紹介します。



SDGsと総合計画

持続可能な開発目標(SDGs(エスディー・ジーズ))は、平成27(2015)年に国連サミットで採択された世界共通の目標で、令和12(2030)年までの達成を目指す17のゴールが掲げられています。

持続可能な社会の実現を目指すSDGsは、川崎市総合計画に掲げるめざす都市像「成長と成熟の調和による持続可能な最幸のまち かわさき」と同様の方向性であるため、「総合計画」を着実に推進することで、SDGsの達成を目指しています。

また、川崎市は、令和元(2019)年7月に、SDGsの達成に向けて先進的な取り組みを進める「SDGs未来都市」として選定されています。

次ページから、市民や事業者の皆さんと連携・協働しながら、総合計画に基づいて川崎市がどのような取り組みを進めているのか、それはSDGsのどのゴールにつながっているのか、ご紹介しています。



KAWASAKI
SDGs

川崎市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※ここでは、政策ごとにSDGsの17の目標の中から、関わり深い目標を示しています。

基本政策1に関連するSDGsのゴール



基本政策 3

市民生活を豊かにする環境づくり



- 多摩川や貴重なみどりを守り、誰もが安らぎ、くつろげる環境づくりを行います。
- 地球環境に配慮し、市民一人ひとりのエコな行動を当たり前のものにしていきます。

Spark Joyゼミ(2年生)



ゼミの取り組み

大師公園のイベントに参加し、ママたちにとっても、公園が楽しい場所になるように自分たちで講師を手配してピラティスを実施。「誰もがときめく公園に」をテーマに、利用者を増やし地域活性を図るために活動中です。

私たちが注目した政策はこれ!

政策3-3 緑と水の豊かな環境をつくりだす

豊かな自然環境を行政と企業、市民などさまざまな主体が協働・連携し、保全、創出、育成する取り組みを持続的に進め、市民の貴重な財産として次世代に継承していきます。

Q. 緑を増やした後の管理者は誰で、
今後はどのように維持するの?

A. 市とボランティアの協働で緑を守る!

公園の管理者は、原則市となりますが、維持管理は、多くの公園で市民ボランティアとの協働により行っています。この協働の取り組みでは、清掃などの維持管理にとどまらず、市民のしたいことを実現できる「みんなが気持ちよく、いきいき過ごせる公園」に向けてさまざまな活動の支援を行っていますので、ぜひ参加してください。詳細は市HPで。



市HP



Q. 緑化フェア^{*}の後、
市民の生活に変化はあった?

A. みどりに関わるきっかけが増えて います!

「みどりでつなげる、暮らしやすく住み続けたいまち」の実現に向けて、全国で初となる秋・春の2期にわたり緑化フェアを開催し、市内全域でみどりのまちづくりを進め、多くの人々が日常生活でみどりに関わるきっかけとなりました。アンケートでは、来場をきっかけに始めたいこととして、「公園の積極的な利用」「ガーデニング」が上位に上がりました。



※緑化フェア:1983年から、毎年全国各地で開催されている国内最大級の花と緑の祭典。市では、市制100周年の象徴的事業として「全国都市緑化かわさきフェア」を開催した。(開催期間:秋:2024年10月19日~11月17日、春:2025年3月22日~4月13日)

基本政策 2

子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり



- 子育てするなら川崎!と思ってもらえるような、安心して子育てできる環境づくりを進めます。
- いつまでも学びたいという気持ちや生きがいを応援するためのネットワークをつくります。
- 夢に向かって歩き出す子どもたちの未来を拓く学びを応援します。

はなまるゼミ(2年生)



ゼミの取り組み

「子どもたちの居場所としての寺子屋や子ども食堂」の取材をして発表しています。実際に地域の寺子屋の見学やお手伝いをしたり、自分たちで考えたプログラム「スライムづくり」の授業を小学3~5年生を対象に行いました。

私たちが注目した政策はこれ!

政策2-3 生涯を通じて学び成長する

子どもたちは、多くの大人との関わり合いの中で、自尊心や他者への信頼感、働くことへの意義などを学び、シニア世代は子どもと積極的に関わり合う中で、生きがいを得る場づくりを進めます。

Q. 私たち高校生でも
寺子屋先生はできるの?

A. 高校生もできます!

高校生や大学生の寺子屋先生が市内のさまざまな寺子屋で活躍しています。寺子屋の活動に興味がある人は、教育委員会事務局 地域教育推進課(電話番号044-200-3565)まで気軽に連絡してください。その他寺子屋の詳細は市HPで。



市HP



Q. 寺子屋先生の年齢層を
広げるためにしていることは?

A. フォーラムの開催など 広報活動を実施中!

幅広い世代の人に寺子屋を知って、関心を持ってもらえるよう、毎年12月ごろに開催している「地域の寺子屋推進フォーラム」でパネル展示やトークセッションを行うほか、地域の掲示板での広報に取り組んでいます。

こうした取り組みにより、高校生も学校活動の一環で寺子屋に参加するなど、関心を持ってくれる機会が増えています。



Q. 寺子屋先生にとっての
楽しいことや大変なことは?

A. やる気をいかにして 引き出すか日々奮闘中!

寺子屋先生からは、活動して良かった点として、「子どもたちと触れ合い、成長や頑張りを見守ることができた」といった声ももらっています。一方で、「子どもたちのやる気や興味をいかに引き出すか」といった声もあるので、少しでも寺子屋先生が活動しやすくなるよう、スキルアップ研修などを行っています。



基本政策3に関連するSDGsのゴール



基本政策2に関連するSDGsのゴール



基本政策 5

誰もが生きがいを持てる 市民自治の地域づくり



■みなさんのまちづくりへの積極的な参加を応援し、共に創りあげる地域社会をめざします。

まんじゅうゼミ(1年生)



ゼミの取り組み

「川崎市の穴場スポット」をデートプランを通して知ってもらう取り組みをしています。実際にいくつかのプランをInstagramでアップして、穴場スポット巡りに参加した人がInstagramで投稿できるようにしました。

私たちが
注目した
政策はこれ!

政策5-1 参加と協働による市民自治を推進する

多様な主体による地域づくりに向け、区役所を中心として、市民生活に身近な行政サービスを提供するとともに、地域の課題解決や地域への愛着の醸成につながるよう、地域の人材や活動をコーディネートするなど、市民が主体的に進める活動を支えます。

Q. 市民自治の地域づくりには
何歳から参加することができるの?

A. 何歳からでも参加できます!

市では、「自分たちのまちの課題は自分たちで解決する」という市民自治のまちづくりを進めており、年齢に関係なく参加できます。「まち」に目を向けたときが参加の第一歩です。

次世代を担う若者が地域づくりに参加することは重要であり、市では、高校生ならではの視点で地域をより良く変えていく取り組みの一つとして地域や社会の未来づくりに挑戦したい高校生をサポートする、「川崎ワカモノ未来PROJECT」などを実施しています。詳細は市HPで。



市HP



Q. 市民の参加・協働を
促進させるためにどのような
取り組みをしているの?

A. 多様なつながりが広がる
取り組みを進めています!

市では、出会いと気づきの中から新たな価値が生まれていく「市民創発」によるまちづくりに取り組んでいます。誰もが気軽に集まることができ、多様なつながりを育む地域の居場所である「まちのひろば」の創出や、新しい活動や価値を生み出すプラットフォームとして「ソーシャルデザインセンター」の支援など、多様なつながりが広がる取り組みを進めています。詳細は市HPで。



市HP



基本政策5に関連するSDGsのゴール



基本政策 4

活力と魅力あふれる力強い 都市づくり



- 世界をリードする川崎のビジネスを、力強くサポートします。
- 首都圏の中で便利につながり、魅力ある暮らしやすいまちをつくります。
- スポーツや文化活動が盛んなワクワクできるまちを、未来へとつなぎます。

白金ゼミ(1年生)



ゼミの取り組み

「川崎市の7区をひろめよう」というテーマで、川崎区大原商店の豆菓子、幸区末広庵の抹茶豆腐、中原区花ごろものどら焼きなど、市民に愛されている食の名産品を通して7区の魅力を発信していくことに取り組んでいます。

私たちが
注目した
政策はこれ!

施策4-9 戦略的なシティプロモーション

市民が愛着と誇りを持ち、誰もが訪れたい川崎を目指すため、市民や企業などと効果的なコラボレーションを図り、川崎の魅力が広く伝わる戦略的なシティプロモーションを推進します。

Q. この政策において、
高校生ができることは?

A. SNSを使って
市の魅力を広く発信!

市では、市民に、川崎に愛着と誇りを持ってもらえるよう、さまざまな取り組みを進めています。その一つとして、川崎の場所やモノなどの魅力発信も行っていますが、まだ知られていない魅力もたくさんあると思います。ぜひ、高校生の視点で発掘し、SNSで広く発信してください。



市公式X



Q. 川崎市にある個人店などを
どのようにPRしているの?

A. 地域の活気づくりに
「かわさき推しメシ」開催中!

市内の個人店を応援し、魅力を広めるため「かわさき推しメシ」を開催しています。第3回となる令和6年度には「デカ映え(大盛りメニュー)部門」と「スイーツ部門」を新設し、魅力ある132店舗からエントリーがありました。市民の皆さんから6,741件もの投票が集まり、大きな盛り上がりを見せ、地域の活気づくりにつながりました!詳細はHPで。



かわさき推しメシHP



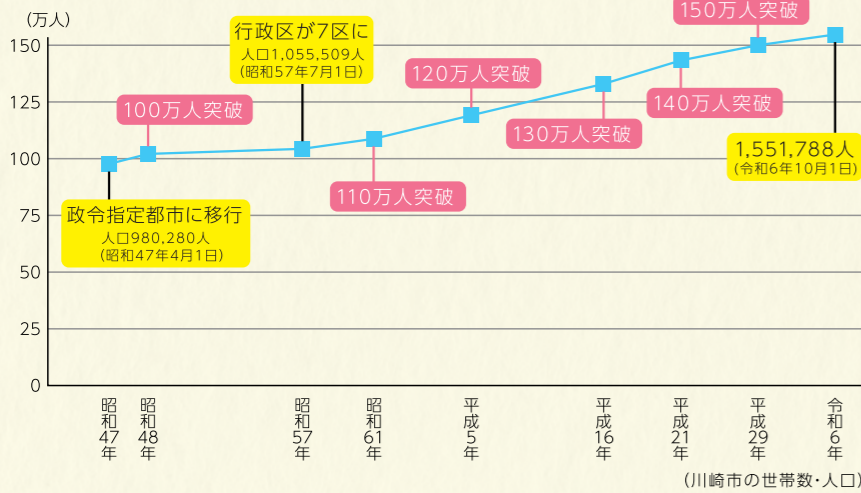
基本政策4に関連するSDGsのゴール



人口が増え続けるまち

大都市=政令指定都市+東京都区部

大正13年に約5万人で誕生した川崎市。昭和47年には98万人を突破し、政令指定都市になりました。その後も人口は増え続け、令和6年には155万人を突破。現在は、21ある大都市の中で7番目に人口が多くなっています。



人口にまつわる こんなデータも

昭和47年以降、大都市の中で

自然増加比率は
ずっと2位以内

出生率は
ずっと4位以内

自然増加比率=(出生数-死亡数)÷人口総数(各年10月1日)
(大都市比較統計年表)

各区のデータ情報

面積が最も広い

人口が最も多く、平均年齢が最も若い

川崎区

人口 …… 231,748人
面積 …… 40.25km²
平均年齢 …… 45.8歳

幸区

人口 …… 173,848人
面積 …… 10.09km²
平均年齢 …… 44.7歳

中原区

人口 …… 267,917人
面積 …… 14.81km²
平均年齢 …… 42.1歳

高津区

人口 …… 235,744人
面積 …… 17.10km²
平均年齢 …… 44.3歳

宮前区

人口 …… 234,713人
面積 …… 18.60km²
平均年齢 …… 45.6歳

多摩区

人口 …… 227,464人
面積 …… 20.39km²
平均年齢 …… 44.1歳

麻生区

人口 …… 180,354人
面積 …… 23.11km²
平均年齢 …… 47.1歳

令和6年10月1日現在
(川崎市の世帯数・人口、川崎市の年齢別人口、川崎市統計書 令和5年版)
※面積は令和5年3月31日現在

令和7年度 当初予算	一般会計 8,927億4,988万円	特別会計 5,064億7,620万円	企業会計 2,355億196万円	合計 1兆6,347億 2,805万円
---------------	-----------------------	-----------------------	---------------------	---------------------------

※端数処理の関係で、合計欄の予算額と各会計の予算額の合計が一致しない場合があります。

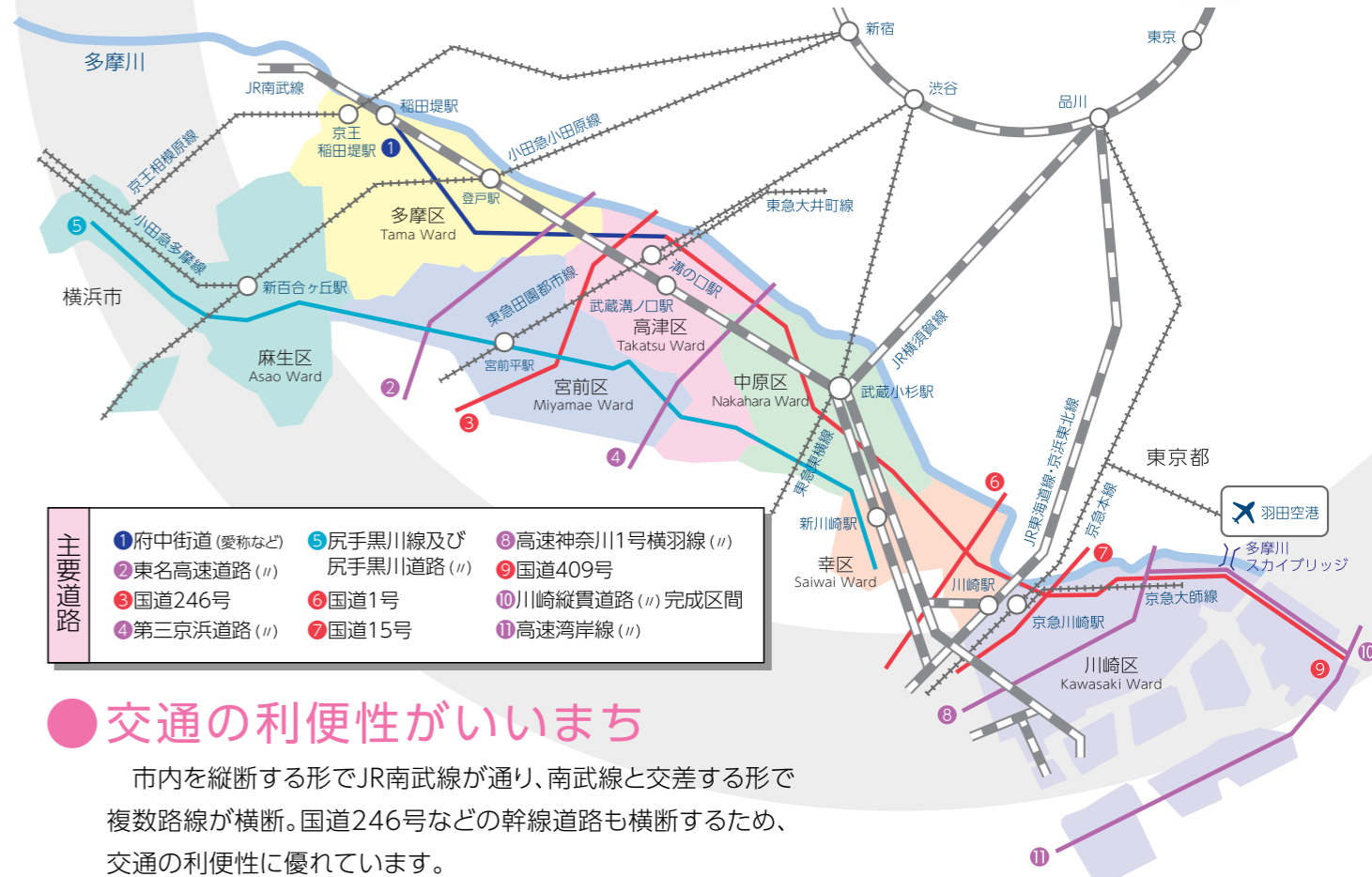
データで見る川崎

川崎市は、神奈川県北東部に位置し、多摩川を挟んで東京と隣接しています。

横浜市と東京都に挟まれた細長い地形で、面積は144.35km²

7つの行政区で構成されており、人口155万人を超える政令指定都市です。

川崎のまちの特徴を、データから読み解いていきます。



- 主要道路
- 1 府中街道(愛称など)
 - 2 東名高速道路(〃)
 - 3 国道246号
 - 4 第三京浜道路(〃)
 - 5 尻手黒川線及び尻手黒川道路(〃)
 - 6 国道1号
 - 7 国道15号
 - 8 高速神奈川1号横羽線(〃)
 - 9 国道409号
 - 10 川崎縦貫道路(〃)完成区間
 - 11 高速湾岸線(〃)

交通の利便性がいいまち

市内を縦断する形でJR南武線が通り、南武線と交差する形で複数路線が横断。国道246号などの幹線道路も横断するため、交通の利便性に優れています。

さらに、令和4(2022)年には多摩川スカイブリッジが開通し、羽田空港へのアクセスが飛躍的に向上しました。

市内の鉄道の 1日平均乗車人数ベスト3

- 1 JR川崎駅 175,876人
 - 2 東急溝の口駅 129,096人
 - 3 JR武蔵小杉駅 99,969人
- (川崎市統計書 令和5年版)

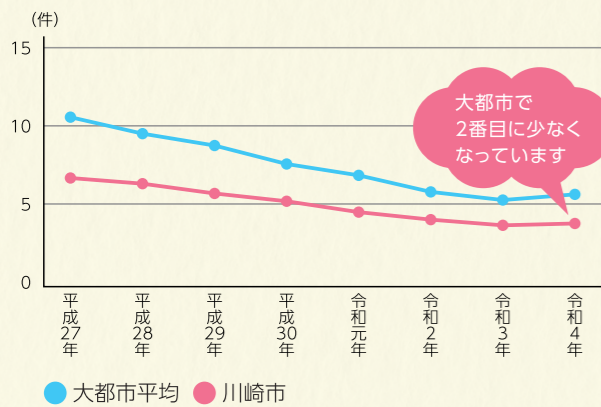
電車でのアクセス

川崎	品川	約 9 分
川崎	横浜	約 8 分
京急川崎	羽田空港	約 16 分
武蔵小杉	渋谷	約 13 分
溝の口	渋谷	約 14 分
登戸	新宿	約 16 分
京王稲田堤	新宿	約 23 分

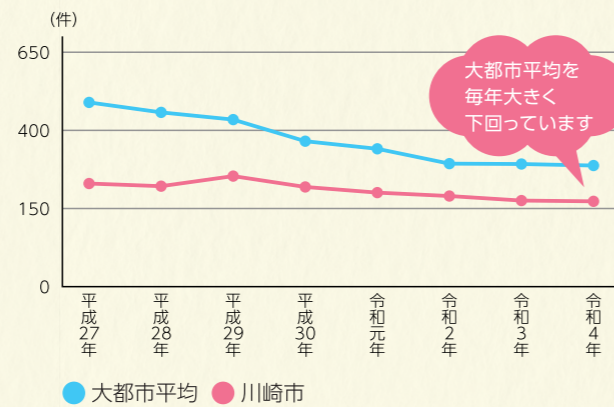
利用する時間帯によって変わります。

安全・安心なまち

人口千人当たり刑法犯認知件数



人口10万人当たり交通事故発生件数



(大都市比較統計年表)

水道施設の耐震化状況

次の全ての項目で全国平均を大きく上回り、水道施設の耐震化が進んでいます。

浄水施設の耐震化率



配水池・配水塔の耐震化率



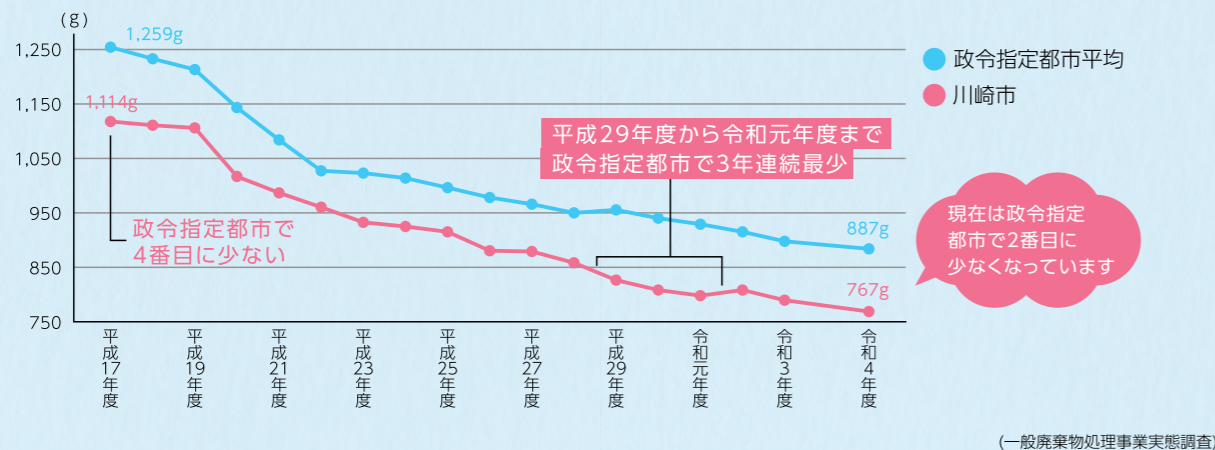
基幹管路の耐震適合率



全て令和4年度末現在(厚生労働省資料)
*大都市は相模原市、千葉市を除く

環境にやさしいまち

1人1日当たりのごみ排出量



(一般廃棄物処理事業実態調査)

安心して子育てできるまち

大都市=政令指定都市+東京都区部

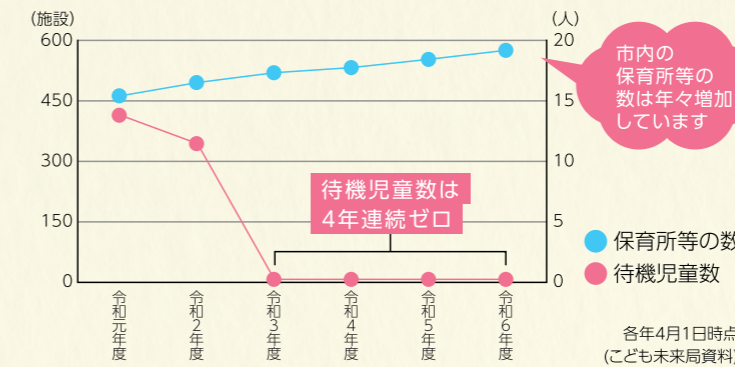
保育施設の状況

市域面積100km²当たりの保育所等の数は大都市で2番目に多く、市内の保育所等の数は年々増加しています。待機児童数は令和6年4月1日時点で4年連続ゼロになっています。

市域面積100km²当たりの保育所等の数



保育所等の数と待機児童数の推移



市内の保育所等の数は年々増加しています

待機児童数は4年連続ゼロ

各年4月1日時点(子ども未来局資料)

市域面積1km²当たり都市公園数



公立小・中学校校舎のバリアフリー化状況

バリアフリースイレ整備率



エレベーター整備率



令和4年9月1日現在(学校施設のバリアフリー化に関する実態調査)

若い人が多いまち

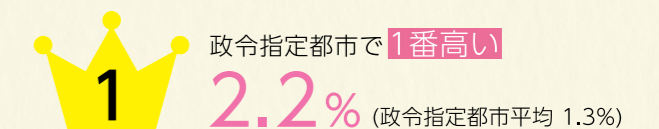
平均年齢

平均年齢の低さは大都市でトップクラスです。また、20代・30代の転入者が多いまちです。



芸術家が集まるまち

文筆家・芸術家・芸能家などの割合

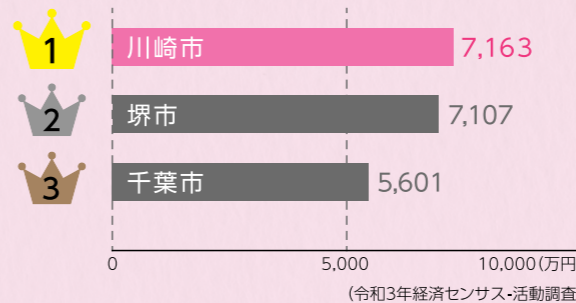


*社会経済分類別人口(15歳以上、分類不能を除く)に対する割合を算出(令和2年国勢調査)

産業が盛んなまち

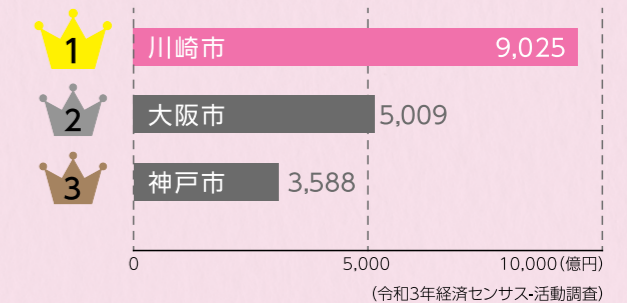
従業者1人当たり製造品出荷額等と化学工業の製造品出荷額等は大都市の中で最も多く、製造業も盛んです。

従業者1人当たり製造品出荷額等



(令和3年経済センサス-活動調査)

化学工業の製造品出荷額等



(令和3年経済センサス-活動調査)

歴史で見る川崎

大正13(1924)年に誕生した川崎市。その頃から臨海部に工業地帯が形成され始めました。一方、内陸部は、戦後に都市化が進みましたが、現在も豊かな自然が残っています。原始から現在に至るまでの川崎市の歩みを振り返ります。

大正13(1924)年 7月 川崎町・御幸村・大師町合併、川崎市誕生(人口48,394人) **A**



旧川崎町役場前
提供/川崎市市民ミュージアム

昭和2(1927)年 4月 田島町市に編入

8(1933)年 8月 中原町市に編入

12(1937)年 4月 高津町・白吉村の一部、市に編入

6月 橋村市に編入

13(1938)年 10月 稲田町・生田村・宮前村・向丘村、市に編入

14(1939)年 4月 柿生村・岡上村、市に編入

7月 全国初工業用水道完成

19(1944)年 10月 市電開通(昭和44年3月廃止)

20(1945)年 4月 川崎大空襲、市街地焼失 **B**

25(1950)年 12月 市営バス営業開始

26(1951)年 6月 市が川崎港の港湾管理者に

32(1957)年 9月 市人口50万人突破

42(1967)年 4月 日本民家園開園

46(1971)年 8月 青少年科学館開館

47(1972)年 3月 川崎市公害防止条例施行

48(1973)年 5月 100万人目の市民誕生

52(1977)年 7月 全国初の環境アセスメント条例施行

57(1982)年 6月 核兵器廃絶平和都市宣言

高津・多摩区の分区分により、宮前区・麻生区誕生(7区制)

59(1984)年 10月 情報公開制度実施

61(1986)年 10月 川崎地下街アゼリア誕生



川崎市指定都市記念式典
提供/川崎市映像アーカイブ



空襲による被害
(六郷橋付近から市役所方面を見る)

平成2(1990)年 11月 市民オンブズマン制度創設

4(1992)年 4月 平和館開館

7(1995)年 10月 廃棄物の鉄道輸送開始

8(1996)年 12月 外国人市民代表者会議開始

9(1997)年 3月 かわさき健康都市宣言

11(1999)年 10月 岡本太郎美術館開館

13(2001)年 4月 子どもの権利条例施行

14(2002)年 4月 人権オンブズマン制度創設

15(2003)年 4月 全市立小学校にわくわくプラザ開設

16(2004)年 7月 ミニザ川崎シンフォニーホール開館(市制80周年)

17(2005)年 4月 川崎市自治基本条例施行

18(2006)年 2月 市立多摩病院開院

19(2007)年 10月 アートセンター開館

20(2008)年 4月 人工海浜がある東扇島東公園開園

21(2009)年 4月 川崎・しんゆり芸術祭アルテリッカしんゆり開催

22(2010)年 3月 J R横須賀線武蔵小杉駅開業

23(2011)年 4月 日本映画大学開学

8月 かわさきエコ暮らし未来館開館

8月 浮島太陽光発電所運転開始

9月 藤子・F・不二雄ミュージアム開館 **D**

12月 扇島太陽光発電所運転開始

24(2012)年 4月 青少年科学館(かわさき宙と緑の科学館)リニューアルオープン

25(2013)年 3月 川崎生命科学・環境研究センター(LISE)開館

3月 殿町国際戦略拠点「キングスカイフロント」まちびらき

10月 東海道かわさき宿交流館開館

1月 第1回区民車座集會開催

4月 市立川崎高等学校を市内初の公立中高一貫教育校へ再編、附属中学校開校

26(2014)年



市制100周年記念式典



新本庁舎

Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく、あざやかに、豊なり合おう。

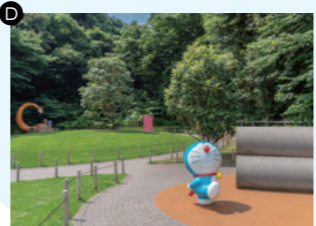
明日は、何色の川崎と出逢おう。

次の100年へ向けて、

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市



藤子・F・不二雄ミュージアム ©Fujiko-Pro

ブランドメッセージ

平成27(2015)年 3月 橋樹官衙遺跡群が川崎市初の国史跡に指定

28(2016)年 3月 J R南武線小田栄駅開業

3月 川崎市総合計画・川崎市行財政改革プログラム策定

29(2017)年 4月 市人口150万人突破

7月 市のブランドメッセージ策定 **E**

10月 カルッツかわさき(スポーツ文化総合センター)開館

12月 全市立中学校で完全給食実施

12月 川崎フロンタールリーグ初優勝

30(2018)年 2月 J R川崎駅北口通路北改札供用開始

4月 市コンベンションホールが完成

31(2019)年 2月 市動物愛護センターが中原区上平間に移転

2(2020)年 12月 市民100万本植樹運動達成

2(2020)年 2月 2050年「酸化炭素排出実質ゼロ宣言」

7月 川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例全面施行

10月 等々力球場リニューアルオープン

11月 かわさきカーボンプレシジョン2050策定

4(2022)年 3月 多摩川スカイブリッジ開通

4(2022)年 4月 政令指定都市移行50周年

4(2022)年 4月 国の脱炭素先行地域に選定

4(2022)年 4月 川崎市立看護大学設立

5(2023)年 6月 新本庁舎完成 **F**

11月 東海道川崎宿起立400年

6(2024)年 5月 橋樹歴史公園オープン

7(2025)年 3月 全国都市緑化かわさきフェア(秋)

10月 全国都市緑化かわさきフェア(春)

10月 富士見公園リニューアル

7(2025)年 7月 市制100周年 **G**

全国初の2期開催



国史跡橋樹官衙遺跡群(橋樹郡家跡)で見つかった建物跡等



東海道五拾三次之内 川崎 六郷渡舟
出典:国立国会図書館ウェブサイト

原始～古代

川崎市域では、約3万数千年前の旧石器時代から人の営みが始まりました。海面上昇がピークを迎えた縄文時代前期には、高津区溝口付近にまで海岸線が入り込み、周辺の丘陵上には多くの貝塚が残されました。縄文時代中期以降、海岸線は徐々に後退し、丘陵上での定住的な生活が営まれるようになりました。古代には、律令国家の地方支配を支える拠点として、高津区から宮前区にかけて橋樹郡家が営まれ、その西隣に古代寺院が建立されました(国史跡橋樹官衙遺跡群)。

中世～近世

平安時代後期には、市域に川崎の地名の由来ともいわれる河崎荘や稲毛庄(荘)などの荘園が成立しました。鎌倉時代から室町時代にかけては、鎌倉の北の要衝としてたびたび合戦の舞台となり、戦国時代になると、小田原北条氏の支配が市全域に及びました。小田原北条氏滅亡後、徳川家康が関東へ入国すると、安定した経営基盤を築くための地域開発として二ヶ領用水が開削され、江戸を起点とした東海道や中原街道などの幹線道路には宿場や継立村が置かれるなど、川崎市域は江戸を支える地域として重要視され発展しました。

近現代

明治時代には、鉄道が開通(川崎駅)。東京と横浜の中間に位置するという立地条件に注目した浅野総一郎によって大正2(1913)年から臨海部の埋め立てが開始され、活発な企業誘致により多数の近代工場が進出し、急速に近代化が進みました。このような中で、大正13(1924)年に川崎市が誕生しました。戦時中には、多数の軍需工場が存在したために、戦災も大きなものでしたが、工業都市として復興を遂げ、昭和47(1972)年には政令指定都市となり、現在もさらに力強く発展を続けています。

かわさきスポーツパートナー

川崎をホームタウンとするトップチームを「かわさきスポーツパートナー」に認定しています。ホームゲームへの市民招待や市内小中学生を対象としたスポーツ教室などを通じて、スポーツを楽しめるまちづくりや、市のイメージアップに貢献していただいています。



川崎ブレイブサンダース
男子バスケットボール



東芝ブレイブアレイズ
野球



川崎フロンターレ
サッカー



富士通フロンティアーズ
アメリカンフットボール



富士通レッドウェーブ
女子バスケットボール



NECレッドロケッツ川崎
女子バレーボール

フランチャイズ・オーケストラ

東京交響楽団

ミュージアム川崎シンフォニーホールを活動拠点に、数多くの演奏会を行う他、市内での巡回公演など、さまざまな演奏活動を行っています。



©T.Tairadate/TSO

川崎市議会

市民の代表者である市議会議員の活動により運営される市議会

市議会は、市民が選んだ市議会議員が、市のルールである条例やお金の使い道である予算、市議会に出される意見・要望などについて話し合う、市の意思決定機関です。年4回の定例会や必要に応じて開かれる臨時会があり、より詳細な話し合いをするために、5つの常任委員会が設けられています。また、市民に開かれた議会を実現するため広報紙「議会かわさき」の発行や本会議と委員会のインターネット中継なども行っています。



世界に開かれたまち川崎

- | | | | | | |
|---|---|--|---|--|--|
| 友好都市
1 シェフィールド市
<small>(イギリス)</small>
■平成2年7月30日提携
■人口約56万人 | 友好都市
2 リューベック市
<small>(ドイツ)</small>
■平成4年5月12日提携
■人口約22万人 | 友好都市
3 ザルツブルク市
<small>(オーストリア)</small>
■平成4年4月17日提携
■人口約16万人 | 姉妹都市
4 リエカ市
<small>(クロアチア)</small>
■昭和52年6月23日提携
■人口約11万人 | 友好港
5 ダナン港
<small>(ベトナム)</small>
■平成6年1月24日提携 | 友好都市
6 瀋陽(しんよう)市
<small>(中国)</small>
■昭和56年8月18日提携
■人口約920万人 |
|---|---|--|---|--|--|

- | | | |
|---|--|--|
| 友好都市
7 富川(ぶちゅん)市
<small>(韓国)</small>
■平成8年10月21日提携
■人口約77万人 | 姉妹都市
8 ウーロンゴン市
<small>(オーストラリア)</small>
■昭和63年5月18日提携
■人口約21万人 | 姉妹都市
9 ポルチモア市
<small>(アメリカ)</small>
■昭和54年6月14日提携
■人口約57万人 |
| 国内友好自治体
10 中標津町
<small>(北海道)</small>
■平成4年7月9日提携
■人口約2万3千人 | 国内友好自治体
11 富士見町
<small>(長野県)</small>
■平成5年4月22日提携
■人口約1万4千人 | 国内友好自治体
12 那覇市
<small>(沖縄県)</small>
■平成8年5月20日提携
■人口約32万人 |



名誉市民

市に関係が深く、市の発展などに卓絶した功績を残し、市民に敬愛される方々です。



藤嶋 昭 さん

科学者
(平成30年選定)
「光触媒」を発見。文化勲章受章

(故)金刺 不二太郎さん 元市長(昭和46年選定)
(故)伊藤 三郎さん 元市長(平成2年選定)
(故)圓鏑 勝二さん 彫刻家(平成3年選定)
(故)岡本 太郎さん 芸術家(平成4年選定)

市民文化大使 (五十音順)

文化芸術・スポーツ分野で活躍されている方に市民文化大使をお願いし、市のイメージアップに貢献していただいています。



伊藤 多喜雄さん
民謡歌手



鵜澤 久さん
能楽師



大谷 康子さん
バイオリニスト



大矢 紀さん
日本画家



小原 孝さん
ピアニスト



国府 弘子さん
ピアニスト



佐藤 征一郎さん
声楽家



SHISHAMO
ミュージシャン



成田 真由美さん
パラリンピックメダリスト



パンチ佐藤さん
スポーツタレント



松本 利夫さん
俳優

かわさきスペシャルサポーター

市にゆかりがあり、若い世代を中心に支持を集める方が就任しています。市民一人一人に、川崎のことをもっと好きになってもらうことを目指して、市と一緒に活動していただいています。



SHISHAMO
ミュージシャン



sumika
ミュージシャン



KADOKAWA DREAMS
プロダンsteam

名誉国際親善大使

ご自身の活動を通して、市の国際的なイメージの向上に貢献していただいています。



中澤 弘さん
医師



ライナー・キュッヒルさん
バイオリニスト

かわさき健康都市宣言

心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることは、私たちみんなの願いです。川崎市に住み、働き、学ぶ一人ひとりが手を携えて、かけがえのない健康をはぐんでいくために、次のことを行います。

●私たちは、「市民健康デー」を大きく実らせ、進んで健康づくりに励みます。

●私たちは、スポーツや運動に親しみ、食生活と休養に気を配り、健康的なライフスタイルを身につけます。

●私たちは、健康を支える温かな家庭、だれもが安全で安心して暮らせる地域、思いやりあふれる社会をめざします。

●私たちは、多摩川や海辺の潤いと多摩丘陵の緑などの恵みを健康に生かし、安らぎのある環境づくりに努めます。

細長く変化に富んで広がる川崎市は、私たちみんなのふるさとです。地域の隅々から元気な声がかかります、明日に伸びゆく人間都市を創造していくために、ここに「かわさき健康都市」を宣言します。

平成9年3月25日 川崎市

市民オンブズマン制度

市民オンブズマンは、市民からの市政に関する苦情申し立ての処理や市政の監視などを、市民主権の理念に立って行い、必要に応じて、市長や市の関係機関に勧告・意見表明などを行い、行政の改善に努めています。

市制10周年記念

川崎市歌 (昭和9年制作)作詞/小林俊三 作曲/高階哲夫

一、 見よ 東に 寄する暁潮
富士の姿を 真澄に仰ぎ
かがやく雲を いろどる多摩川
希望満つる 朝風
今ぞ明けゆく わが川崎市

二、 東海道の おもかげいずこ
左右に展ぶる 大都の翼
高らかに打つ 文化の脈はく
科学に樹つ 栄光
勢い努めて 若き生命を

三、 巨船つなぐ ふ頭の影は
太平洋に 続く波の穂
汗と力に 世界の資源を
集め築く 基礎
今ぞ輝く わが川崎市

YouTubeの川崎市チャンネルで視聴できます



市章 (大正14年制定)

川崎市の市章は「川崎」の「川」の字を表すだけでなく、市民の歴史とともに流れ続ける多摩川と、それと同じように発展する「川崎」を象徴しています。



市民の花・市民の木 (昭和49年制定)

市制50周年を記念して市民にゆかりの深いもの、親しみのあるもの、都市緑化にふさわしいものなどを考えて、市民投票で選ばれました。



市民の花 つばき



市民の木 つばき

市民の花 つばき

区の花・区の木



Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市

ブランドメッセージには、「川崎は、多様性を認め合い、つながり合うことで、新しい魅力や価値を生み出すことができるまちをめざしていく」という意味が込められています。ロゴマークの「赤」「緑」「青」は、交じり合うことでどんな色でも作り出すことができる光の三原色をイメージしており、川崎の「多様性」や「可能性」を表現しています。

市ホームページ



川崎市 検索

市 LINE公式アカウント

防災、イベントなどに関する情報をお届けします



@kawasacity

市 シティプロモーション X

川崎市が好きになる情報が満載です



@kawasaki_pr

市 シティプロモーション

Instagram



@kawasacity_pr

市 シティプロモーション

YouTube



@Kawasacitypr

カワサキノコト 川崎市 市勢要覧 2025

2025(令和7)年4月発行

発行:川崎市総務企画局シティプロモーション推進室 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地 TEL044-200-2287 FAX044-200-3915

制作:株式会社ノクチ基地 〒213-0033 神奈川県川崎市高津区下作延1丁目1-7 TEL044-814-0101